

7月の米輸入物価は昨年12月以来となる下落

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

ポイント

・輸入燃料価格の下落により7月の米輸入物価は前月比▼1.4%の下落。

・燃料価格は依然として1年前より約6割は高い水準に留まる。

輸入燃料価格の下落が貢献

7月の米輸入物価は前月比▼1.4%(6月は同+0.3%)と昨年12月以来の下落を記録、同▼2.6%を記録した2020年4月以来の下落率の大きさであった。輸入物価の下落には輸入燃料の下落が大きく影響しており、輸入燃料価格は前月比▼7.5%であった。輸入燃料価格は下落したとはいえ、1年前と比較するといまだに約6割弱は高い水準ではある。輸入燃料価格▼7.5%の内訳は、石油価格が▼6.8%、天然ガスが▼20.6%の下落である。

燃料価格以外は3ヵ月連続の下落

燃料価格を除いた輸入物価は前月比▼0.5%と3ヵ月連続の下落(5月は同▼0.3%、6月は同▼0.6%)となった。米輸物価は前月比▼3.3%(6月は+0.7%)の低下であった。

東京市場マーケットデータ

2022/8/12 現在

日経平均	2万8546円
プライム売買代金	3兆7126億円
プライム時価総額	710兆8871億円
日経平均予想PER	12.8倍
日経平均PBR	1.2倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

2022/8/12 現在

	株価前日比
1 ソフトバンクグループ	5.5%
2 レーザーテック	1.5%
3 東京エレクトロン	4.5%
4 ファーストリテイリング	1.9%
5 トヨタ	2.2%
6 日本郵船	1.6%
7 キーエンス	4.4%
8 ソニーグループ	2.1%
9 ファナック	5.8%
10 三菱 UFJFG	1.9%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

